

# 「とろにゃん」発表および感謝状贈呈式

町公式マスコットキャラクター「とろにゃん」の発表に合わせ、デザイン原作者である神辺夏海さんに対し、感謝状が贈呈されました。とろにゃんは全国から応募のあった345点の中から選ばれたデザインであり、神辺さんは受賞にあたり、「とろにゃんが長瀬町の皆様に愛されるのはもちろん、全国に向けて町のイメージアップに役立ってくれたらうれしい」と話していました。

【3月21日】

本キャラクターは、一定の条件を満たせば、個人・団体を問わず、どなたでもご使用できます。詳細は長瀬町ホームページをご確認ください。



(左から大澤町長、神辺夏海さん)

## 「町への提案制度」の内容をお知らせします

「町への提案制度」に、令和5年度は皆さんから34件の提案等が寄せられました。今月号では、寄せられた提案の一部と回答(要旨)をお知らせします。

### 提案 玄関前の掲示物の縦覧について

表面のものは見られるが、2、3枚目は見られないので自由に開けるようにしたらどうか。本来なら高札所なので、見ることはできないのはおかしい。

### 回答 総務課

条例、規則等の公布、告示及び公告は掲示場にあります。しかしながら、スペースの都合により、ガラス戸越しに全ての掲示物の内容が見えるように掲示することができないため、誰でも簡単に戸を開けて中を確認できるような構造となっております。

ご提案を受け、ガラス戸の開閉方法などの表示の仕方を見直し、皆様がより掲示物をご覧頂きやすくなるよう改善しました！

問合せ 企画財政課 企画担当 ☎66・3111 内線221

15

町長コラム

「森林、里山を守りそこに住む生き物を守ろう(SDGs目標15)」



地球温暖化の責任を農業に押しつけようとしている考え方が、世界の環境派に蔓延しているようです。ドイツ緑の党の農業大臣は「農業は自然を荒らす」と発言。遺伝子組み換えと関係の深いバイエル社(化学工業及び製薬会社)の代表はダボス会議(世界経済フォーラム)で「農業が温暖化の原因」と発言。人工肉や人工卵、昆虫食が日常食になる日が来るかもしれないと考えるとぞっとします。EUはサステナブルを欧州の成長戦略とするグリーン・ディール政策(共通農業政策)を決定し、すべての農地に4%の休耕地を設ける義務を定め、また、2030年までに欧州の1/4をオーガニックに転換することを決めました。これにEU各国の農民が反発、大規模なトラクターデモを行ったそうです。2019年東京都が策定したゼロエミッション東京戦略は「農地拡大による森林の減少や劣化など土地利用の変化を起因としたCO<sub>2</sub>が排出されています」と書いています。温暖化の原因は、世界的に都市化が進み温暖化のガスを大量に排出し、森林を破壊したからだと思いますが、この考えは違うのでしょうか。牛のゲップまで温暖化の原因にされて牛もかわいそうです。

人間が生きていく上で必要な「衣食住」。なかでも食べることが最も必要と思う中で政府間に「農山村集落の全部は守れない。選択と集中が必要」という意見があると聞き困ったことだと思っています。

感謝

「衣食足りて 礼節を知る」 管仲 斉(中国)の賢相